

令和二年長崎県支部 紙上俳句大会成績

令和二年十一月

大会大賞

海へ出てひかりとなれり草の絮

長崎市

村田まさ子

長崎新聞社賞（岸原清行特選一席）

長崎忌遺影の友はいまも二十歳

福岡市

黒田さだむ

秀逸賞

道草の子ら緑蔭の秘密基地

長崎市

太田紀子

姉が居て兄も居た日や麦こがし
遠泳を終へ海神に一礼す

佐世保市

鴨川富子

北九州市

末次 正

岸原清行特選

長崎忌遺影の友はいまも二十歳

福岡市

黒田さだむ

大浦の聖鐘ここに露けしや

福岡市

木下武久

引揚げの港に親子像灼くる

佐々町

鴛渕和明

縣 恒則特選

台風一過遊び果てたる子ども部屋

長崎市

大畠順子

黙々と空に田植す千枚田

佐世保市

田中和枝

吾もまた夕焼の中に染まりをり

松浦市

大内弘美

牛飼瑞栄特選

寒月光切り絵のやうな涛頭

諫早市

坂本三枝子

海へ出てひかりとなれり草の絮

長崎市

村田まさ子

夜は肩の力を抜いて案山子翁

長崎市

荒井千佐代

高永久子特選

姉が居て兄も居た日や麦こがし

佐世保市

鴨川富子

コロナ避け墓で落ち合ふ帰省の子

佐世保市

坂本幸代

襟先へアイロン利かず立夏かな

佐世保市

横田弘子

辻原晩夏特選

老いてなほ誇るふるさと鰯干す

鉛筆に平和を託す原爆忌

洗礼名ヨセフとマリア大根干す

永野潤子特選

目に見えぬ敵と戦ふ医師の汗

日の本の空を広げて田水張る

牛なひし腕の供養よ終戦忌

西 史紀特選

道草の子ら緑蔭の秘密基地

爽やかや手に水瓶の百濟仏

とんぼうやひとりを拾ふ里のバス

西山常好特選

海へ向く人間魚雷の碑の灼くる

遠泳を終へ海神に一礼す

ひぐらしの声も掃き寄せ修道女

簾先四十三特選

神宿る大樹に絡む藤の空

ひぐらしの声も掃き寄せ修道女

月天心軒を寄せ合ふ坂住まひ

藤野律子特選

海へ出てひかりとなれり草の絮

澄む水を擰めば水の鳴りにけり

茶屋橋の袂より燃え曼珠沙華

長崎市 栗山よしこ

福岡県 岩崎要子

佐世保市 牛飼瑞栄

諫早市 篠崎清明

熊本市 永田満徳

佐世保市 鶴田弘子

諫早市 熊本市

長崎市 太田紀子

長崎市 長崎市

佐世保市 鶴川富子

佐世保市 高永久子

佐世保市 末次 正

佐世保市 高平保子

佐世保市 永福倫子

佐世保市 高平保子

鹿児島市 上野ミチ

長崎市 村田まさ子

長崎市 朝長美智子

諫早市 山口いつ子